

2026年

かわむら小児科

公式 LINE



モ〜モ〜くらぶ



インフルエンザワクチンについて

今年も例年と同じく10月から12月に接種をいたします。今年から2年前に発売された経鼻生ワクチン(商品名フルミスト)も接種を開始します。従来の経皮不活化ワクチンとの違いを表にいたしますので、御参照いただき、どちらを接種するか決めていただければと思います。

フルミストは2歳から18歳が対象で、両鼻に1回ずつ噴霧します。生のウイルスなのでインフルエンザのような症状が出ることがあります。登園登校を禁止するほどではありませんが、ウイルスが一週間ぐらい出ているので周りに免疫力の弱い方がいる場合には要注意です。検査キットで陽性に出ることもあり、流行時期と接種時期が重なるとインフルエンザなのかワクチンのせいなのかかわりにくいこともあります。

皮下接種は13歳未満の子では基本的には2回接種(3週から4週間隔がベスト)ですが、小学生で以前に受けている子であれば1回接種でも効果は2回接種と変わらない(抗体の上りが変わらない)ということがわかりはじめたので、1回でもよいかと思えます。3歳以上で前年に受けている子であれば1回でも効果ありというデータもあります。

従来のワクチンもフルミストも、A/H1型(2009年の新型)、A/H3型(A香港型)、B型の3種類のインフルエンザウイルスが入っています。また、いずれのワクチンもその前日でも翌日でも他のワクチンを受けることは可能です。

今年はフルミストは200人分用意し水曜日のみ接種を行う予定です。ご希望の場合は早めにご予約ください。

	不活化ワクチン(従来のもの)	経鼻生ワクチン(フルミスト)
接種年齢	生後6か月から	2歳から18歳まで
接種方法	皮下注射	両方の鼻に噴霧
接種回数	当院では小学生未満2回、小学生以上1回	1回
接種してできる免疫	IgGという血液中の免疫(抗体)	IgGと鼻の粘膜にできる分泌型IgA
接種の痛み	注射の痛み少しあり	痛みはなし。ただし鼻を嫌がる子は難しいかも
主な副反応	1日から2日注射部位が腫れることあり	インフルエンザのような症状(発熱など)出ることがあり
効果の長さ	3〜4か月ぐらい	6か月ぐらい
有効率	30〜40%	60%ぐらいという報告あり
注意事項	接種後人に感染することはありません。注射を怖がる人には経鼻がいいかもしれません	生のウイルスのため、免疫力の弱い子は接種を避けた方がよい。また、登園・登校を禁止するほどではないが、接種後1週間ぐらい人に感染する恐れあり、周りに免疫力の弱い人がいる場合は要注意。ゼラチンアレルギーがある人はアレルギー症状を起こすことあり。検査キットで一週間ぐらい陽性に出ることあり
接種料金	1回目4000円、2回目2500円	8000円

……感染症情報(8月1日現在)……

- ★新型コロナウイルスが7月から増えています。
- ★ヒトメタニューモウイルスも少しずつ見られます。手足口病は減ってきました。

休診のお知らせ

8月14日(金)〜15日(土) お盆休み
 8月20日(木)午前10時30分
 〜8月24日(月) 日本外来小児科学会(札幌)